

新プランの方向性について

現行対策の維持と強化を図りつつ、課題を踏まえた新たな対策強化に取り組む。

【結核対策の主な課題】

- (1) 外国出生結核患者の継続した発生 (2) 新規患者の80歳以上の割合が増加
 (3) 結核患者の入院困難 (4) 結核菌株確保

現行プラン(2018年策定)

原因の究明

- (1) サーベイランスの強化

発生の予防・まん延防止

- (2) BCG接種の確実な実施
 (3) 早期発見の取り組み強化
 (4) 確実な接触者検診の実施

医療

- (5) 医療機関の確保
 (6) 適切な診断・治療
 (7) 服薬支援の強化

人材育成

- (8) 保健所などの職員の資質向上

普及啓発

- (9) 都民への普及啓発
 (10) 福祉施設・企業・教育機関への普及啓発

施設内（院内）感染の防止

- (11) 医療機関における取組の支援
 (12) 施設における取組の支援



新プランの考え方

【現行対策の維持と強化】

現行プランは以下の柱を中心に対策を実施

- 原因の究明
- 発生の予防まん延防止
- 医療
- 人材育成
- 普及啓発
- 施設内（院内）感染の防止

【新プランでの新たな方針】

新プランでは上記に加え「低まん延化」、
 「新型コロナウイルス感染症流行」を経た
 情勢の変化に対応し、以下の方針をプランに
 掲げ、対策に努める。

- 結核菌株確保の推進
- 結核医療の充実
- 普及啓発のさらなる促進

新プラン（案）

原因の究明

- (1) サーベイランスの強化
(2) 結核菌株確保の積極的な実施 new!

発生の予防・まん延防止

- (3) BCG接種の確実な実施
 (4) 早期発見の取り組み強化
 (5) 確実な接触者健診の実施

医療

- (6) 結核医療体制の充実 new!
 (7) 適切な診断・治療
(8) 診療サポートの強化 new!
 (9) 服薬支援の強化

人材育成

- (10) 保健所等の職員の資質向上
(11) 医療従事者の人材育成 new!

普及啓発

- (12) 都民への普及啓発
(13) 高齢者・外国人への普及啓発 new!
 (14) 福祉施設・企業・教育機関への普及啓発

施設内（院内）感染の防止

- (15) 医療機関における取組の支援
 (16) 施設における取組の支援